

サカサクラゲ

分類：根口クラゲ目 サカサクラゲ科 (鉢虫綱)
 学名：*Cassiopea ornata*
 英名：

平らな傘をさかさにして、海中をとき泳ぐこともあるが、砂の上で過すという、変わった生活をする熱帯海域に分布するクラゲで、鹿児島湾以南の奄美諸島及沖縄諸島から太平洋、インド洋、大西洋に熱帯海域に汎世界的に分布する。
 タコクラゲ：*Matigias papua* 同様に褐虫藻が共生し、その太陽の光合成によるエネルギーによって生存している。刺胞毒をもっているため刺されると危険である。砂や砂泥底ではイソギンチャクに姿形がよく似ている。傘の直径は50m/m位であるが最大で150m/mにも達する。



アンドンクラゲ

分類：立方クラゲ目 アンドンクラゲ科 (箱虫綱)
 学名：*Carybdea rastoni*
 英名：Jimble

駿河湾や相模湾以南から沖縄諸島、西太平洋の熱帯海域、オーストラリアの東海岸特にグレートバリアリーフの内海の浅海に生息する。立方体の傘の四隅から透明なる付根が20m/m位のびて、その先は白く鞭状で、この触手は150m/m位の長さで刺胞をもっていて、この毒液で餌を捕える。これはNematocystsとよばれ人間にも害を及ぼす。6~8月に出現し毒性はハブクラゲ：*Chiropsalmus quadrigatus* に次いで強い。普通にデンキクラゲと呼ぶものはアンドンクラゲのことで傘の高さは30m/m程度。

